

2017年(平成29年)10月30日(月曜日)

日本食糧新聞

地方銀行フードセレクション

金融機関による最大規模の展示商談会「地方銀行フードセレクション2017」が11月9～10の2日間、東京・有明の東京ビッグサイト東4・5ホールで開催される。12回目の開催を迎え、主催行は初参加5行を加えて55行と過去最多。出展規模も831社（前年687社）と大幅に拡大。来場者は1万4000人を見込む。

11月9～10日



商品展示コーナー（昨年）

見どころは、昨年も大好評の「商品展示コーナー」と「新商品」コーナー、新登場は創業100年以上の企業商品を集めた「老舗名店街」コーナーと厳選した銘酒を集めた「こだわりの酒」コーナーだ。酒類メーカーの小間で、こだわりのお酒に合うおつまみを、他出展社と試飲試食を行う。各都道府県の「食・観光」

出展831社と大幅拡大 老舗名店街など新企画投入

の取組みを紹介する都道府県PRスペースも設置する。さらに、例年以上に自治体や商工会の出展が多く、地域を盛り上げるアピール合戦が期待されている。商談率の高さを誇る「事前予約制個別商談会」の規模を拡大する。全国から集まる出展社同士で商談できる「出展社同士のマッチング」の時間も設ける。昨年、同マッチングでは、「越後雪室屋（新潟県）」と「黒木農園（佐賀県）」のコラボが実現。越後雪室屋の雪室での貯蔵技術を生かし、黒木農園のレンコンの長期保存が可能になり、糖度アップも果たした。

主催行は、北海道銀行、みちのく銀行、秋田銀行、北都銀行、荘内銀行、山形銀行、岩手銀行、東北銀行、七十七銀行、東邦銀行、群馬銀行、足利銀行、常陽銀行、武蔵野銀行、千葉銀行、千葉興業銀行、東京都民銀行、横浜銀行、第四銀行、北越銀行、山梨中央銀行、八十二銀行、北陸銀行、北國銀行、福井銀行、静岡銀行、大垣共立銀行、十六銀行、三重銀行、百五銀行、滋賀銀行、京都銀行、近畿大阪銀行、池田泉州銀行、南都銀行、紀陽銀行、但馬銀行、鳥取銀行、山陰合同銀行、中国銀行、広島銀行、山口銀行、阿波銀行、百十四銀行、伊予銀行、四国銀行、西日本シティ銀行、筑邦銀行、北九州銀行、佐賀銀行、十八銀行、肥後銀行、大分銀行、宮崎銀行、鹿児島銀行の55行。

（山田由紀子）